

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

材サグ'ンカキシグ'ンカイ

フリガナ 団体名 大崎文化歴史保存会

所在地

連絡先

代表者役職・フリガナ 氏名 会長 板野 督

実施分野	<p>(該当の分野を○で囲んでください)</p> <p>ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他</p>
事業名	「市民健康づくり」散策コースの保存活動
事業実施区域 (小学校区)	庄内小学校区
①事業実施内容	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>○本事業も3年目になり、高松公民館の協力を得ながら例年通りの事業を実施できた。 ○高松公民館との共催講座「大崎を歩く会」を実施。 ・募集した40～50名の参加者が、4月の第4日曜日に高松城址から出発して、「大崎散策コース」を大崎文化歴史保存会のボランティアガイドの説明を受けながら2時間30分かけて歩いた。 ○へんろ道の清掃整備活動 ・1月の第4日曜日、雪の降る中、作業実施。作業は草刈に留まらず、伐採作業も実施。 ・清掃活動についても、公民館の広報紙にてボランティア募集を行なった。3年前より毎年数名の、ボランティア協力者と共に行っている。また、清掃活動だけでなく「へんろ道」の保存活動に協力してくれている。</p>

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>○古墳時代後期より栄えていた大崎地区では、奈良時代に建立されたとされる「大崎廃寺跡」、戦国時代の全国最大級の延命地蔵「文英石仏」があり、さらに江戸末期に大崎村初代の有松万助により開拓された「大崎八十八か所へんろ道」があるが、これらの歴史遺産が忘れ去られていく恐れがある。まずは、この周辺を整備・清掃し、地元住民だけでなく、広く広報し、次の世代にも歴史文化遺産の継承を促していくことが、現在の住民の義務であると考えている。</p> <p>○また、高齢化社会の中、市民の健康維持は大きな課題となっている。</p>
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況</p> <p>など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <p>○平成27年に完成した「案内マップ」を活用して、広報活動や実際の散策コースウォーキングに役立てることが出来た。人数は把握できなかったが、5月のゴールデンウィークには今まで経験したことが無いほどの多くの地域内外の方々がウォーキングや観光にいられていた。またへんろ道周辺で言えば「大師堂」への来客数も増加している。</p> <p>○山陽新聞に大崎地区が紹介されたため、多くの方が公民館などにマップを求めにいられた。</p> <p>○「区づくり推進事業（地域活動部門）」で補助いただいたおかげで、非常にたくさんの方々に「案内マップ」を使うことで、大崎地区の知名度を上げることが出来、継承活動へのきっかけを作ることが出来た。</p> <p>○さらに多くの地域内外の方が「健康づくり」の手段として「大崎八十八か所へんろ道」を利用してくれるようになってきた。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>○事業の企画・実施に於いては、公民館と共催しており、特に保存会ではまだホームページを維持管理する力はないが、「高松公民館ホームページ」を利用し、案内マップや保存会の活動の掲載をして頂いている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>○へんろ道の清掃・整備活動が、必然的に活動の柱となっており、そのためにはボランティア参加者を増やしていきたい。ただ、へんろ道の一部急斜面については、手慣れた保存会のメンバー主体で行なっていく予定。保存会も若い世代に入会してもらう事も考えていく。</p>

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

○平成 27 年度に作成した「案内マップ」は我々にとって非常に大きな事業であった。マップの内容についても必要な事柄が網羅されていると自負している。特に 1 番から 88 番の札所の位置については GPS を利用し、正確に記すことが出来た。今後は、我々保存会の会員を中心に、ボランティア参加者や高松公民館の協力を得ながら、微力ながら「大崎地区の歴史遺産の保存」に努力していくつもりです。

- 区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容
- 1.健康市民おかやま 21 の「ええとこ発見図」に登録し活動の芽を広く周知継続して頂きたい。
・編集改変時期がまいりましたら、相談させていただきます。
 - 2.自己資金確保と予算の適正かつ効率的執行に努めてください。
・拝承しました。
 - 3.審査会の意見・コメントを参考にし、これまでの成果・課題を踏まえ、創意工夫して下さい。
・拝承しました。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

右記の I～V の該当部分に○を付けてください。なお、IV を選ばれたときは、その理由を下記 () 内へ記入して下さい。

(理由：)

■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
平成 29年 4 月 23日	大崎古墳群めぐりウォーキング(参加者 40 名)
8 月 6日	「へんろ道」草刈(保存会役員)
9 月 24日	役員会
11 月 26日	「へんろ道」点検
12月3日	役員会(今年度の反省と次年度の課題)
1月28日	へんろ道の草刈りと清掃
随時	ボランティア・グループによる看板設置や修理及び、 草刈り・清掃

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	10,000	0	
負担金			
参加費			
寄付、他収入	10,000	0	
計	20,000	0	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費			
②食糧費			
③印刷製本費	20,000	0	
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
計	20,000	0	